

(窯業系サイディング、意匠性サイディング等)

工程	材料	調合(重量)	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2.下塗り ※右記 いずれか	マルチ浸透シール 無希釈	15kg	0.1~0.2 (kg/m <sup>2</sup> /回)	75~150m <sup>2</sup>	刷毛 中毛ローラー、 エアレススプレー	1回	4時間以上
	クオリティサーフ 清水	15kg 2~5%	0.18~0.3 (kg/m <sup>2</sup> /回)	50~83m <sup>2</sup>	刷毛 中毛ローラー	1回	3以上
3.上塗り	ラジセラ	15kg	0.11~0.2 (kg/m <sup>2</sup> /回)	75~136m <sup>2</sup>	刷毛	2回	3時間以上
	清水	2~5%			ローラー エアレス		

### ●マルチ浸透シール

(1液水性浸透形カチオンプライマー)

 ■荷姿  
15kg缶

 ■施工用具  
刷毛  
ローラー  
エアレス

#### ■適用基材

コンクリート・モルタル・GRC板・ケイカル板・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン等

### ●クオリティサーフ

(1液水性形特殊シリコン樹脂サーフェーサー)

 ■荷姿  
15kg缶

 ■施工用具  
刷毛  
ローラー

#### ■適用基材

コンクリート・モルタル・一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン

### ●ラジセラ

(超低汚染性1液水性ラジカルコントロール形無機変性樹脂塗料)

 ■荷姿  
15kg/缶

 ■施工器具  
刷毛  
ローラー  
エアレス

#### ■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン等



## 注意事項

- マルチ浸透シールはカチオン系塗料ですので、希釈できないうえ、他種塗料との混合も出来ません。
- マルチ浸透シールを塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入して下さい。
- クオリティサーフは高粘度製品ですが、仕様上の希釈率を超えて使用すると隠ぺい性の低下や密着不良となる可能性がありますので、規定の仕様を守ってご使用ください。
- ラジセラは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ラジセラは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮できない場合があります。
- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染・密着不良・又は塗膜に割れが発生することがありますので重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- 常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- 塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- 材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- 塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- 塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

(モルタル・コンクリート・等)

工程	材料	調合(重量)	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いて下さい。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。③ゴミ・油等の付着物は除去し、水分10%、pH10以下に管理して下さい。④下地の表面に微細ひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択して下さい。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。⑥吹付面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。						
2.下塗り、下地調整	マルチ浸透シール 無希釈	15kg	0.1~0.2 (kg/m <sup>2</sup> /回)	75~150m <sup>2</sup>	刷毛 中毛ローラー、 エアレススプレー	1回	4時間以上
	コットンファイラー	15kg	0.2~0.45	33~75m <sup>2</sup>	中毛ローラー 刷毛	1回	4時間以上
	清水	2~6%	0.5~0.8	18~30m <sup>2</sup>	多孔質ローラー		
その他、下地に応じて適切な下塗材を選定してください。							
3.上塗り	ラジセラ	15kg	0.11~0.2 (kg/m <sup>2</sup> /回)	75~136m <sup>2</sup>	刷毛 ローラー	2回	3時間以上
	清水	2~5%			エアレス		

### ●マルチ浸透シール

(1液水性浸透形カチオンプライマー)

#### ■荷姿

15kg缶

#### ■施工用具

刷毛、ローラー、エアレス

#### ■適用基材

 コンクリート・モルタル・GRC板・ケイカル板・一般外壁  
サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等

### ●コットンファイラー

(水性1液形特殊軽量弾性断熱ファイラー)

#### ■荷姿

15kg/缶

#### ■適用基材

 コンクリート・モルタル・PC板・GRC板・ケイカル板・  
一般外壁・サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・等  
(注:旧塗膜が健全な状態のものにのみ塗装可)

### ●ラジセラ

(超低汚染性1液水性ラジカルコントロール形無機変性樹脂塗料)

#### ■荷姿

15kg/缶

#### ■施工器具

 刷毛  
ローラー  
エアレス

#### ■適用基材

 一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード  
・吹付タイル・スタッコ・リシン等


## 注意事項

- ・マルチ浸透シールはカチオン系塗料ですので、希釈できないうえ、他種塗料との混合も出来ません。
- ・マルチ浸透シールを塗布後は十分に乾燥させてから、次の工程に入して下さい。
- ・コットンファイラーは、既存塗膜の劣化が著しい場合・打ち放しコンクリート・PC・モルタル等の新築の場合は、高圧洗浄後にマルチ浸透シール、又はシリコン浸透シーラーEXを塗布してから使用して下さい。
- ・ラジセラは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・ラジセラは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮できない場合があります。
- ・セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥時間は夏期で1週間、冬期で2週間必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ・シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染・密着不良・又は塗膜に割れが発生することがありますので重ね適用性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様をしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚す原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降る地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

外壁	金属系
標準施工仕様	

金属系外壁(一般鉄部・等)

工程	材料	調合(重量)	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC-SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行って下さい。②チョーキング・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6か月以上放置し表面光沢を消失されるか、或はリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	メタルガードエポ 主剤 硬化剤 塗料用シンナーA	14.4kg 1.6kg 0~8%	0.15~0.18 (kg/m <sup>2</sup> /回)	89~106m <sup>2</sup>	刷毛 中毛ローラー エアレススプレー	1回	4時間以上 7日以内
3.上塗り	ラジセラ 清水	15kg 2~5%	0.11~0.2 (kg/m <sup>2</sup> /回)	75~136m <sup>2</sup>	刷毛 ローラー エアレス	2回	3時間以上

●メタルガードエポ

(2液弱溶剤形エポキシ樹脂サビ止めプライマー)

■荷姿  
16kgセット

■色  
・ブラウン ・ブラック  
・ホワイト ・グレー

■適用基材

鉄、ステンレス、電気亜鉛メッキ、アルミ(A1050P)、FRP板、旧塗膜、焼付鋼板、他

●ラジセラ

(超低汚染性1液水性ラジカルコントロール形無機変性樹脂塗料)

■荷姿  
15kg缶

■施工器具  
刷毛  
ローラー  
エアレス

■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン等



注意事項

- ・メタルガードエポは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・メタルガードエポの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、点錆が発生する恐れがあります。
- ・ラジセラは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・ラジセラは超低汚染タイプの塗料ですが、建物の部位(斜壁・笠木のないパラペット・日の当たらないベランダの内壁等)によっては、十分な低汚染性を発揮できない場合があります。
- ・シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染・密着不良・又は塗膜に割れが発生することがありますので重ね適合性を十分確認の上、施工して下さい。
- ・メタルガードエポは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事が有ります。飛散防止対策は確実に行って下さい。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

屋根	窯業系
標準施工仕様	

(コロナアル・カラーベスト・波形石綿スレート・等)

工程	材料	調合(重量)	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23℃)
1.素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・カビ・藻等は、高圧洗浄等で丁寧に除去して下さい。洗浄は高圧洗浄が出来ない場合、水を流しながらデッキブラシ・ワイヤーブラシ・タワシ等を用いて取り除いて下さい。洗浄後は十分に乾燥して下さい。スレート波板の溝の部分・重ね箇所・フックボルト周辺等は入念に清掃して下さい。旧塗膜が劣化して、浮き・割れ・膨れ等がある場合はきちんと除去して下さい。②寒冷地区における屋根材は、塗膜の膨れ・剥がれ等の劣化が著しく、下地が脆くなっています。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離の原因となったり、光沢が出ない等の仕上がりが不良になりますので、入念に行う必要があります。③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。④雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	ダブルプライマー (色:遮熱ホワイト)  塗料用シンナーA	主 剤  硬化剤	14kg  2kg  0~8%	0.10~0.15 (kg/㎡/回)	106~160㎡	刷毛 中毛ローラー	1~2回  1日以上 5日以内
3.上塗り	ラジセラルーフ  塗料用シンナーA	主 剤  硬化剤	13.5kg  1.5kg  0~8%	0.12~0.17 (kg/㎡/回)	88~125㎡	刷毛 中毛ローラー	2回  3時間以上

### ●ダブルプライマー(遮熱ホワイト)

(2液弱溶剤形中塗り兼用カラープライマー)

#### ■荷姿

16kgセット 主 剤: 14kg  
硬化剤: 2kg

#### ■可使用時間

4時間以内(23℃)  
(夏場2時間)

#### ■適用基材

一般外壁・コンクリート・モルタル・PC板・ALC板・ケイカル板・窯業系サイディングボード・吹付タイル・スタッコ・リシン・波形石綿スレート・コロナアル・カラーベスト・厚型スレート瓦・等

### ●ラジセラルーフ

(2液弱溶剤形無機変性ラジカル制御形遮熱塗料)

#### ■荷姿

15kgセット 主 剤: 13.5kg  
硬化剤: 1.5kg

#### ■可使用時間

5時間以内(23℃)

#### ■適用基材

・波形スレート・コロナアル・カラーベスト・厚型スレート瓦  
・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等

注 意 事 項

- ・ダブルプライマーの色は必ず遮熱ホワイトを使用して下さい。遮熱ホワイト以外の色を使用すると、遮熱効果が十分に発揮出来ません。
- ・ダブルプライマーとラジセラルーフは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・ダブルプライマーは、特に混合後の可使用時間を厳守し、特に夏場は2時間を目安に使い切ってください。可使用時間以内に使用できなかった場合、下地や上塗材との付着力が低下しますので、必要に応じて都度小分けしてご使用ください。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は、ダブルプライマーの塗り回数を増やし固着して下さい。
- ・ダブルプライマーの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、遮熱効果が十分に発揮出来ない恐れがあります。
- ・ラジセラルーフは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・ラジセラルーフは標準色を使用して下さい。(別紙色見本帳をご確認下さい。)
- ・コロナアル・カラーベストの重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は、皮すき・カッター等で除去して下さい。漏水の原因になります。
- ・ダブルプライマー及びラジセラルーフは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えては必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にししっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行って下さい。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行って下さい。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。

屋根	金属系
標準施工仕様	

(トタン・鋼板・等)

工程	材料	調合(重量)	所要量	一缶(セット)の塗り面積	施工用具	塗回数	間隔時間(23°C)
1.素地調整	①電動工具・手動工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部は2種ケレン(SSPC_SP3、ISO St3)程度まで除錆して下さい。旧塗膜は全面表面あらし後、清掃ケレンを行って下さい。②コケ・ゴミ等付着物・汚れ・劣化塗膜がある場合は、密着力低下の原因となりますので、入念に除去し、油分は溶剤にて拭き取って下さい。③亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板・電気亜鉛メッキ鋼板)に塗装する場合、6ヵ月以上放置し表面光沢を消失されるか、或はリン酸処理等を施してから塗装して下さい。④塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。⑤雨上がり後は、素地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2.下塗り	メタルガードエポ (ホワイト) 塗料用シンナーA	主 剤 硬化剤	14.4kg 1.6kg 0~8%	0.15~0.18 (kg/m <sup>2</sup> /回)	89~106m <sup>2</sup>	刷毛 中毛ローラー エアレススプレー	1回 4時間以上 7日以内
3.上塗り	ラジセラルーフ 塗料用シンナーA	主 剤 硬化剤	13.5kg 1.5kg 0~8%	0.12~0.17 (kg/m <sup>2</sup> /回)	88~125m <sup>2</sup>	刷毛 中毛ローラー	2回 3時間以上

### ●メタルガードエポ

(2液弱溶剤形エポキシ樹脂サビ止めプライマー)

#### ■荷姿

16kgセット

#### ■色

・ブラウン ・ブラック  
・ホワイト ・グレー

#### ■適用基材

鉄、ステンレス、電気亜鉛メッキ、  
アルミ(A1050P)、FRP板、旧塗膜、  
焼付鋼板、他

### ●ラジセラルーフ

(2液弱溶剤形無機変性ラジカル制御形遮熱塗料)

#### ■荷姿

15kgセット

主 剤: 13.5kg  
硬化剤: 1.5kg

#### ■可使用時間

5時間以内(23°C)

#### ■適用基材

・波形スレート・コロニアル・カラーベスト・厚形スレート瓦  
・トタン・鋼板・亜鉛メッキ鋼板・等

注  
意  
事  
項

- ・メタルガードエポ(ホワイト)及びラジセラルーフは、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌して下さい。
- ・メタルガードエポ(ホワイト)の塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合、点錆の発生及び遮熱効果が十分に発揮出来ない恐れがあります。
- ・ラジセラルーフは必ず2回塗りで仕上げして下さい。
- ・ラジセラルーフは屋根用標準色を使用して下さい。(別紙色見本帳をご確認下さい。)
- ・メタルガードエポ(ホワイト)及びラジセラルーフは、弱溶剤形のため取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗替えては必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去して下さい。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させて下さい。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないで下さい。
- ・塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にししっかり養生して下さい。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取って下さい。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌して下さい。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- ・常に結露が発生する地域・時期・場所での塗装は避けて下さい。
- ・施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けて下さい。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保して下さい。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装して下さい。
- ・塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理して下さい。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分して下さい。(排水路・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないで下さい。)
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用して下さい。
- ・塗装後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
- ・塗装中・塗装後は充分換気を行ってください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- ・商品を取り扱う際には、各商品の容器に記載されている注意事項をよく守って下さい。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認下さい。